第22講　経済大国としての安定成長
PART2 冷戦の終結と国内のバブル経済

Chapter 1　新冷戦と冷戦の終結

目標
1970年代の冷戦の動きを理解しよう。
冷戦が終わったのはなぜだろう？

1　1970年代の世界

1970年代には，米ソ関係は**緊張緩和〔デタント〕**へと向かったが，
1979年のソ連によるアフガニスタン侵攻を機に，再びの緊張＝**新冷戦**状態となった。

1971年　ニクソン訪中計画発表→第一次ニクソン＝ショック
ドルショック→第二次ニクソン＝ショック

1972年　アメリカ大統領ニクソン（共和党）訪中→毛沢東と会談
日中共同声明→日中国交正常化
米ソによる第一次戦略兵器制限協定〔SALT Ⅰ〕

1973年　東西ドイツが国際連合同時加盟
ベトナム和平協定→アメリカのベトナム戦争終結
第四次中東戦争・第一次オイルショック〔石油危機〕
変動為替相場制への移行

1975年　第一回先進国首脳会議〔サミット〕→G6（翌年からG7）

1976年　**ベトナム社会主義共和国**の成立

1977年　200海里漁業専管水域（現在の排他的経済水域〔EEZ〕）設定

1978年　**日中平和友好条約**
ガイドライン〔日米防衛協力のための指針〕を決定

1979年　米中国交正常化→アメリカ大統領カーター（民主党）
スリーマイル島原発事故→アメリカ
米ソによる第二次戦略兵器制限交渉〔SALT Ⅱ〕
ソ連による〔1　　　　　　　　　〕**侵攻**→ブレジネフ政権
イラン革命〔イスラム革命〕**→第二次オイルショック〔石油危機〕**
カンボジア内戦の激化

2 1980年代の世界

1980 年　イラン・イラク戦争開始（～ 88 年）

西側諸国によるモスクワ五輪ボイコット

1984 年　東側諸国によるロサンゼルス五輪ボイコット

1985 年　ソ連が〔2　　　　　　　〕政権に移行

※グラスノスチ〔情報公開〕に基づく

〔3　　　　　　　〕**〔改革〕**を実施

プラザ合意→G5

1986 年　〔4　　　　　　　〕**原発事故**→ソ連**ウクライナ共和国**

1987 年　**ルーブル合意**→G7

INF〔中距離核戦力〕全廃条約の締結

※アメリカ大統領レーガンとソ連書記長ゴルバチョフ

1988 年　ソ連がアフガニスタン撤兵を表明

1989 年　（第二次）**天安門事件**→中国の鄧小平政権が民主化運動を武力で弾圧

東欧革命

〔5　　　　　　　〕**崩壊**

〔6　　　　　　　〕により**冷戦終結**→ヤルタからマルタへ

※アメリカ大統領ブッシュ（共和党）と**ソ連書記長ゴルバチョフ**

マルタ会談

まとめ　緊張緩和〔デタント〕から，
ソ連のアフガニスタン侵攻により 1970 年代末に新冷戦状態となった。
財政難にあえぐ超大国米ソのうち，ソ連の指導力が低下し冷戦は終結した。

Chapter 2　バブル経済期の内閣

目標
1990年前後，日本がアメリカから厳しい態度をとられたのはなぜだろう？
日本が湾岸戦争で国際的な批判を浴びたのはなぜだろう？

1　竹下・宇野内閣

①〔1　　　　〕**内閣**（**自由民主党**，1987 ~ 89年）

竹下登

1988年　アメリカがスーパー301条を制定→翌年から日本に適用
※不公正貿易の障壁除去の交渉が決裂した場合，
アメリカが一方的に関税を引き上げることができるというもの。
「**経済大国**」化していた日本に対抗。
牛肉・オレンジの輸入自由化決定（1991年から実施）
〔2　　　　〕が問題化→「政治とカネ」問題
※政治家に対するリクルートコスモス社の未公開株譲渡事件。
消費税の導入を柱とする税制改革関連法案が可決
※中曽根内閣時に挫折した大型間接税導入を，当時幹事長だった竹下登が達成。

1989年　昭和天皇崩御・〔3　　　　〕と改元→皇太子明仁（現在の上皇）が即位
税率3％で〔4　　　　〕スタート
日本の**ODA〔政府開発援助〕**負担額が世界最大規模となる
※のち1991 ~ 2000年まで実績額で世界第1位。1980年代には，
円高の影響もあり日本の1人あたり国民所得はアメリカを抜いた。
各国への貿易黒字が累積し，
日本は世界最大の債権国に（2021年末時点でも31年連続対外純資産第1位）。
日米構造協議の開始（~ 90年）
※〔5　　　　〕問題の根幹にある，
日米双方の社会・経済システムの改革についての協議。

②**宇野宗佑内閣**（**自由民主党**，1989年）

1989年　参議院議員選挙で与野党逆転
※宇野首相個人の女性スキャンダルもあり，2か月余りで失脚。
特に社会党委員長土井たか子を中心とする女性候補者たちの
「マドンナ旋風」に飲み込まれ，わずか69日で退陣。

2 海部内閣

①**第一次海部俊樹内閣**（**自由民主党**，1989 ~ 90 年）

1989 年　**日本労働組合総連合会〔連合〕**結成

※労資協調路線をとる同盟など民間の労働組合が 1987 年に結集し，
総評がそこへ合流。社会党主流派〔右派〕系労働組合の全国組織。

全国労働組合総連合〔全労連〕結成

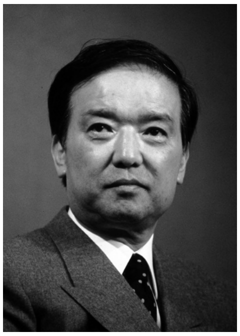
※連合を右派的と批判する総評の反主流派が結成, 共産党系労働組合の全国組織。

全国労働組合連絡協議会〔全労協〕結成

※連合・全労連に行かない・行けない，
社会党非主流派〔左派〕系労働組合の連絡・共闘組織。

東欧革命・ベルリンの壁崩壊

マルタ会談により**東西冷戦集結**



海部俊樹

②第二次海部俊樹内閣（自由民主党，1990 ~ 91 年）

1990 年　東西ドイツ統一

イラクのフセイン大統領がクウェートに侵攻

1991 年　〔6　　　　　　　〕勃発

※日本は米英仏を中心とする
対イラクの**多国籍軍**に **130 億ドルの戦費支援**を行う。
戦争終結後には，ペルシア湾の機雷除去のため海上自衛隊の掃海艇を派遣。

〔7　　　　　　　　〕**の崩壊**

※異常な株価・地価高騰時代の終焉，
以後**平成不況**と呼ばれる複合不況に悩むこととなる。

まとめ
日本の貿易黒字が累積し，世界最大の債権国になったことで，
日本の国防を担いつつ赤字が累積するアメリカの不満は募った。
日本は湾岸戦争で経済援助しかしないことから，国際社会で非難された。

第22講 PART 2 確認問題

1 1979 年，ソ連が侵攻した国はどこか。

① イラン ② イラク
③ パキスタン ④ アフガニスタン

2 ソ連のゴルバチョフ政権が
政治・社会体制の全面的見直しのために掲げたスローガンはどれか。

① ペレストロイカ ② ネップ
③ ナロードニキ ④ グラスノスチ

3 1986 年に原子力事故を起こしたチェルノブイリ発電所は，現在どこの国にあるか。

① ウクライナ ② カザフスタン
③ ラトヴィア ④ ベラルーシ

4 1989 年に開かれ，冷戦の終結が合意された会談はどれか。

① カイロ会談 ② ヤルタ会談
③ マルタ会談 ④ テヘラン会談

5 1989 年，３％の消費税を開始した内閣はどれか。

① 海部俊樹内閣 ② 鈴木善幸内閣
③ 竹下登内閣 ④ 宇野宗佑内閣

6 竹下登内閣時に問題化した事件はどれか。

① ロッキード事件　② リクルート事件
③ 昭和電工事件　④ 東京佐川急便事件

7 1989 年に結成された，社会党主流派〔右派〕系労働組合の全国組織はどれか。

① 連合　② 同盟
③ 全労連　④ 全労協

8 1991 年，クウェートに侵攻したイラクに対し，
米英仏を中心とした多国籍軍が武力制裁を加えた戦争はどれか。

① ベトナム戦争　② 湾岸戦争
③ フォークランド紛争　④ アフガニスタン侵攻

第 22 講　PART 2　確認問題 解答

1 解答：④　**アフガニスタン侵攻**はブレジネフ政権が行った。

2 解答：①　④の**グラスノスチ**は，ゴルバチョフ政権が打ち出した情報公開を進める方針のこと。

3 解答：①　チェルノブイリ原発事故は，当時史上最悪といわれた原子力事故だった。

4 解答：③　マルタ会談で，アメリカ大統領**ブッシュ**（共和党）とソ連書記長**ゴルバチョフ**が冷戦終結に合意した。

5 解答：③　中曽根内閣時に挫折した大型間接税導入を，当時蔵相だった竹下首相が達成した。

6 解答：②　**リクルート事件**は，リクルートコスモス社の政治家に対する未公開株譲渡事件で，「政治とカネ」が問題となった。①のロッキード事件は三木武夫内閣時に問題となった。

7 解答：①　**連合**は**日本労働組合総連合会**の略称で，労資協調路線をとる同盟など民間の労働組合が 1987 年に結集し，総評がそこへ合流して結成された。

8 解答：②　日本は，米英仏を中心とする対イラクの**多国籍軍**に 130 億ドルの戦費支援を行った。